

報道関係者各位
プレスリリース

2026 年 10 月 23 日

嵯峨野トロツコ列車の新型車両が 2027 年春にデビュー GK デザイン総研広島がデザイン監修

株式会社 GK デザイン総研広島（広島県広島市・代表取締役社長 彌中敏和）は、デザイン監修で参画した、嵯峨野観光鉄道株式会社の新型トロツコ列車（牽引車 DEC743 形・客車 SK1000 系）のデザインが完成し、2027 年春にデビューすることをお知らせします。

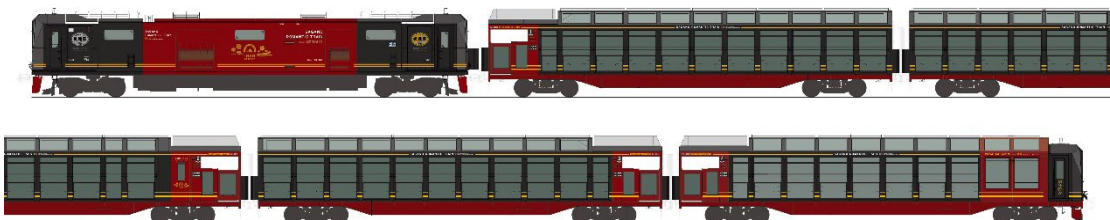


■ 新型トロツコ列車「SAGANO ROMANTIC TRAIN」

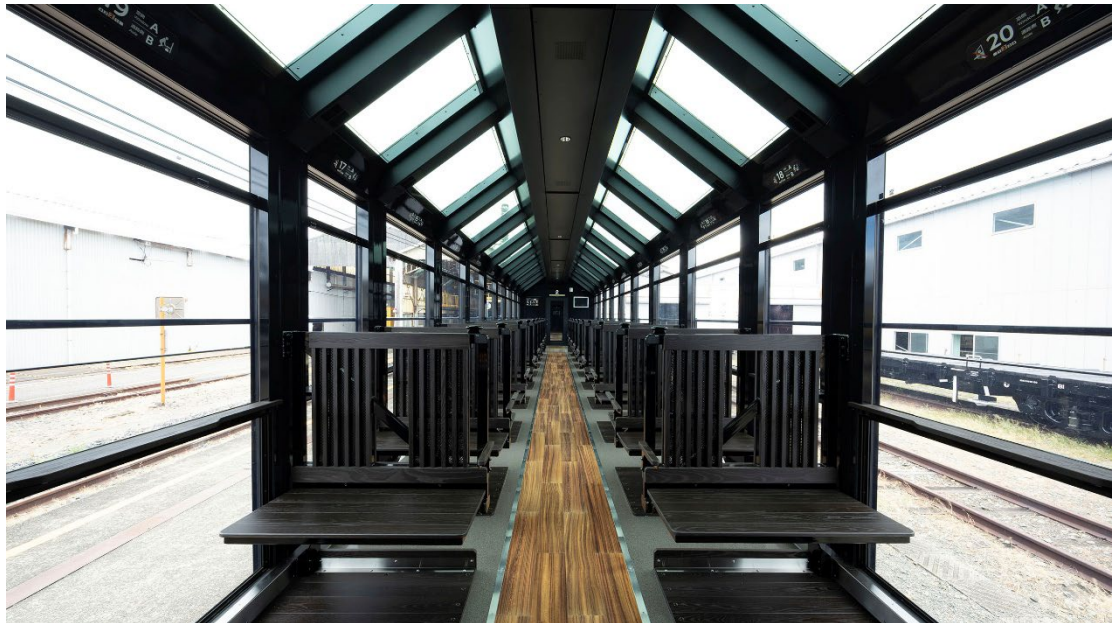
嵯峨野トロツコは、1991 年の開業以来、国内外の多くの人に親しまれてきました。新型車両は、車窓の絶景を楽しむパノラマ感や開放感を進化させつつ、快適性と利便性を高めた車両です。

GK デザイン総研広島は、嵯峨野トロツコの魅力を見つめ直し、「保津峡の溪谷美」「ノスタルジックな旧山陰線の汽車旅」「嵯峨野・嵐山の洗練された『ひなび』風情」の 3 つが複合しあう世界観をコンセプトに、外観・内装・シンボルグラフィックのデザインを監修しました。

外観は、貨車がもつ力強さや洗練された「ひなび」感を黒色基調で表現しつつ、従来の赤色と黄色をアクセントに配し、嵯峨野トロツコらしさを継承しています。



内装は、全車両に採用された、これまでにない大型の窓や天窓から見える美し景観を際立たせるため、柱や窓枠を黒で統一したデザインとしました。座席や床には汽車旅を演出する木質素材を用いています。4号車には、縁台のような畳席から前面眺望も楽しめるプレミアムキャビン「嵐峡（らんきょう）」を設けました。



シンボルグラフィックは、沿線の風光明媚を表す保津川の流れ・紅葉・桜と、国の登録有形文化財にも認定されている明治期のトンネルをモチーフにデザインしました。

車両先頭部のエンブレムの周囲には、嵐山の竹林（笹の葉）を表す模様を配しています。



嵯峨野トロッコホームページ <https://www.sagano-kanko.co.jp/>

GK デザイン総研広島は、「事業・運動・研究」を理念に、プロダクト、コミュニケーション、都市環境・建築の領域を横断する総合デザインオフィスです。製品、空間、情報、サービスなどを横断的に扱い、企業や公共機関の活動に関わる意思決定やアウトプットの質を高める提案を行っています。

お問い合わせ先

株式会社 GK デザイン総研広島

730-0051 広島市中区大手町 4-6-16 山陽ビル 3F

TEL: 082-242-7755 <https://www.gk-design.co.jp/dsh/>

広報担当: 松尾 matsuo@gk-design.co.jp